

身近な税金

勝山中部中学校

三年

川内

鈴華

わたしは今まで税金がきらいでした。いろんなものに税金がかかっていて、正直なところ、税金って必要ないんじゃないのだろうかと思っていました。

けれど、税金は大切なんだと聞いて、調べようと思い調べてみました。税について詳しく勉強して、わたしの考え方が間違っているのだと気付きました。なぜなら、わたしたちの払っている税金がすごく幅広い範囲で生活に生かされていたからです。

税金は、医療負担や年金、生活保護費などに使われていて、病気をした人や老人などに困った人のために税金が使われているのだと分かったんです。税金はほかにも、道路をつくったり、公園をつくったりといういろんなことに使われているのが分かったけれど、わたしが目にとめたのは「義務教育費」という

わたしたちが支払う税金。それが多くの人
の手助けになっている。そして、自分も気づ
かないうちにいるんな人に支えてもらってい
る。お互いに助け合うこと。
それが「税金」だと分かりました。こうし
て分かった今、いつも見るレシートの「税」
の文字が、わたしにはもうもったいない物に
は見えませんでした。